

2013.9.21

生誕 200 年 ワーグナーとヴェルディ 第4回  
二人オペラ作曲家

プログラム

今年生誕200年を迎えた、音楽史上最大のオペラ作曲家と言われるワーグナーとヴェルディ。二人の名作を聴きながら偉大な足跡を辿るシリーズの第4回目です。

今回はヴェルディの数多くの名作群の中から、バビロニア王ナブッコが神の怒りにふれて死ぬ物語で、ヴェルディの出世作となった「ナブッコ」。愛する娘を奪われたあげく、殺されてしまうリゴレットの悲劇を描いた中期の名作、「リゴレット」。父である国王の妃となったのが、恋する女性だった事に苦悩する王子の悲劇を描いた中期の傑作「ドン・カルロ」。ポストン総督の暗殺とそれに絡んだ恋の葛藤を描いた中期の傑作「仮面舞踏会」。実の弟とは知らずに処刑してしまう伯爵、恋のために毒を飲んで死ぬ女官、復讐に燃えるジプシー女といった複雑な人間描写が素晴らしい名作「トロヴァトーレ」。これも中期に入る頃の秀作「ルイザ・ミラー」等から、序曲や合唱曲、アリアの名曲を集めました。

ワーグナーの作品からは、白鳥の騎士ローエングリンが王女エルザを救って素性を明かすまでを描いた神秘的なロマン漂う中期の傑作「ローエングリン」。トリスタン和音と呼ばれる半音階和声の連続によって、激しいまでの愛の姿を表現した楽劇の最初の傑作「トリスタンとイゾルデ」。若き騎士ワルターが名歌手の歌合戦に勝って娘エヴァを射止めるまでを描いた円熟期の名作喜劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」から良く知られた名曲を集めてお聴きいただきます。

\*\*\*\*\*

ジュゼッペ・ヴェルディ (1813~1901):

歌劇「ナブッコ」序曲／第3幕「行け、我が思いよ、黄金の翼に乗って」

リッカルド・ムーティ指揮ミラノ・スカラ座管弦楽団／ミラノ・スカラ座合唱団  
(1996.5.18 ミラノ・スカラ座でのLive)

歌劇「リゴレット」～第3幕「女心の歌」

フランコ・コレリリ(テノール)／森 正指揮東京フィルハーモニー管弦楽団  
(1973.11.21 NHKホールでのLive)

歌劇「ドン・カルロ」～第1幕 エボリ公女のアリア「美しいサラセンの宮殿の庭に」

アグネス・バルツァ(メゾ・ソプラノ)／マルチェットロ・ヴィオッティ指揮ミュンヘン放送管弦楽団  
(2001.5.13 フリードリヒスハーフェン、ツェツペリン伯爵邸でのLive)

歌劇「仮面舞踏会」～

第1幕の前奏曲と合唱／第2幕 アメリアのアリア「この草を摘み取ると」

第3幕 リッカルドのアリア「永遠にあなたを失えば」

ジョセフィン・バーストウ(ソプラノ)……アメリア／プラシド・ドミンゴ(テノール)……リッカルド  
ゲオルク・シオルティ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1990.7.28 サルツブルク祝祭大劇場でのLive 演出:ジョン・シュレジンジャー)

歌劇「トロヴァトーレ」～第1幕「静かな夜に」

アドリアーナ・マルフィージ(ソプラノ)／ネッロ・サンティ指揮NHK交響楽団  
(2001.11.23 NHKホールでのLive)

歌劇「トロヴァトーレ」～第2幕「アンヴィル・コーラス」

歌劇「ルイザ・ミラー」序曲

ジュゼッペ・シノーポリ指揮ドレスデン国立管弦楽団及び合唱団  
(1999.7.11 ドレスデン、オベルン・プラッツでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

リヒャルト・ワーグナー (1813~1883):

歌劇「ローエングリン」～

第1幕への前奏曲／第3幕への前奏曲と「婚礼の合唱」～「愛の二重唱」／終幕

ヨナス・カウフマン(テノール)……ローエングリン／アンネッテ・ダッシュ(ソプラノ)……エルザ  
ダニエル・バレンボイム指揮ミラノ・スカラ座管弦楽団／ミラノ・スカラ座合唱団  
(2010.12.7 ミラノ・スカラ座でのLive 演出:ギー・カシアス)

楽劇「トリスタンとイゾルデ」～「前奏曲と愛の死」

ジェシー・ノーマン(ソプラノ)／小澤征爾指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1999.8.15 サルツブルク祝祭大劇場でのLive)

楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」～第1幕への前奏曲

朝比奈 隆指揮北ドイツ放送交響楽団  
(1987.4.16 サントリーホールでのLive)